

小学校の「情緒障害等通級指導学級」が「特別支援教室」に変わります

平成 28 年度から特別支援教室(サポートルーム)での指導を開始します。

現在、小学校の通常の学級に在籍している発達障がい等の児童の一部は、在籍学級における授業の一部にかえて、他校に設置された情緒障害等通級指導学級で特別な指導を受けています。

より多くの児童が在籍校で指導や支援を受けられるように、各小学校に特別支援教室(サポートルーム)を設置し、教員が巡回指導を開始します。

大田区では平成 27 年度にモデル校を設置し、平成 28 年度に全小学校で実施します。

現在の通級指導学級体制

通級指導学級設置校に児童が通級し、指導を受けます。



他校通級における主な課題

- ・他の学校での指導のため、在籍学級担任と通級指導学級の担当教員の緊密な連携の図りにくさがあります。
- ・他校へ移動して授業を受けることになるので、学習時間が短くなります。
- ・保護者の送迎が必要です。

今後の特別支援教室(サポートルーム)体制

全ての区立小学校に特別な指導を行う教室を設置し、教員が巡回して指導します。



【特別支援教室(サポートルーム)導入により期待される効果】

- ・これまでの通級指導学級による指導を全ての小学校で実施することで、より多くの児童が支援を受けられるようになり、在籍校での個別指導や小集団指導を通して、児童の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長が図られます。
- ・在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、指導内容の充実が図られます。
- ・教職員や保護者の身近に指導が行われるので、理解が深まります。